



2019年5月24日

各 位

会社名 株式会社 バナーズ  
 代表者 代表取締役 小林 由佳  
 (コード番号 3011 東証第二部)  
 問合せ先 執行役員 大内 修  
 電 話 (048)523-2018

(訂正・数値データ訂正)

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2019年5月14日に公表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」について一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の理由

「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後、連結財務諸表「連結キャッシュ・フロー計算書」に関連して、記載の一部に誤りがあることが判明いたしましたので、これを訂正するものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線   を付して表示しております。

サマリー情報 1 ページ

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	<u>573</u>	<u>△255</u>	△186	932
2018年3月期	39	236	△495	801

(訂正後)

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	<u>587</u>	<u>△269</u>	△186	932
2018年3月期	39	236	△495	801

1. 経営成績等の概況

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(訂正前)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 131 百万円増加し、932 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって獲得した資金は、573 百万円（前年同期は 39 百万円の獲得）となりました。これは主に預り保証金の増加 250 百万円に加えて、減価償却費の計上 164 百万円や税金等調整前当期純利益の計上 100 百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、255 百万円（前年同期は 236 百万円の獲得）となりました。これは主に貸付金の回収による収入 706 百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出 509 百万円や貸付による支出 450 百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、186 百万円（前年同期は 495 百万円の使用）となりました。これは主に自己株式の取得による支出 193 百万円があったためであります。

(訂正後)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 131 百万円増加し、932 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって獲得した資金は、587 百万円（前年同期は 39 百万円の獲得）となりました。これは主に預り保証金の増加 250 百万円に加えて、減価償却費の計上 164 百万円や税金等調整前当期純利益の計上 100 百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、269 百万円（前年同期は 236 百万円の獲得）となりました。これは主に貸付金の回収による収入 706 百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出 509 百万円や貸付による支出 450 百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、186 百万円（前年同期は 495 百万円の使用）となりました。これは主に自己株式の取得による支出 193 百万円があったためであります。

3. 連結財務諸表及び主な注記  
 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	91,872	100,731
減価償却費	202,801	164,278
のれん償却額	8,970	994
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,050	10,672
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,751	△6,962
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,350	△11,615
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,622	△28
受取利息及び受取配当金	△14,646	△10,611
支払利息	24,496	22,332
有価証券評価損益 (△は益)	299	40
固定資産除却損	0	24,972
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5,508	△52
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	46,396
売上債権の増減額 (△は増加)	29,465	22,340
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△205,574	△63,195
仕入債務の増減額 (△は減少)	△19,261	38,339
未収消費税等の増減額 (△は増加)	354	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,076	8,429
その他の資産・負債の増減額	△67,406	267,912
小計	76,714	614,975
利息及び配当金の受取額	14,947	9,035
利息の支払額	△23,184	△16,728
法人税等の支払額	△28,990	△33,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,486	573,721
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△91,211	△120,880
定期預金払い戻し収入	174,019	123,476
有形固定資産の取得による支出	△21,279	△509,093
有形固定資産の売却による収入	49,385	135
投資有価証券の取得による支出	△100	—
貸付けによる支出	△800,000	△450,000
貸付金の回収による収入	926,066	706,066
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—	△4,085
その他の支出	—	△1,472
その他の収入	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	236,879	△255,844
(中略)		
現金及び現金同等物の期末残高	801,025	932,527

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	91,872	100,731
減価償却費	202,801	164,278
のれん償却額	8,970	994
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,050	10,672
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,751	△6,962
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,350	△11,615
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,622	△28
受取利息及び受取配当金	△14,646	△10,611
支払利息	24,496	22,332
有価証券評価損益 (△は益)	299	40
固定資産除却損	0	38,472
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5,508	△52
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	46,396
売上債権の増減額 (△は増加)	29,465	22,340
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△205,574	△63,195
仕入債務の増減額 (△は減少)	△19,261	38,339
未収消費税等の増減額 (△は増加)	354	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,076	8,429
その他の資産・負債の増減額	△67,406	267,912
小計	76,714	628,475
利息及び配当金の受取額	14,947	9,035
利息の支払額	△23,184	△16,728
法人税等の支払額	△28,990	△33,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,486	587,221
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△91,211	△120,880
定期預金払い戻し収入	174,019	123,476
有形固定資産の取得による支出	△21,279	△509,093
有形固定資産の売却による収入	49,385	135
投資有価証券の取得による支出	△100	—
貸付けによる支出	△800,000	△450,000
貸付金の回収による収入	926,066	706,066
有形固定資産の除却による支出	—	△13,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△4,085
その他の支出	—	△1,472
その他の収入	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	236,879	△269,344
(中略)		
現金及び現金同等物の期末残高	801,025	932,527

以上